

# IPBES

## 生物多様性と気候変動に関する IPBES-IPCC合同ワークショップ 報告書の解説

IPBES-IPCC Co-Sponsored Workshop Report on  
Biodiversity and Climate Change





1

背景



Background of the Report

IPBES

## 【議 題】

気候変動と生物多様性の相互関係と今後の人間社会への示唆  
気候変動下の生物多様性保全  
気候変動緩和策が生物多様性に与える影響  
生物多様性と気候変動適応  
生物多様性保全策が気候変動に与える影響  
生物多様性、気候と人間社会の相互作用、境界と閾値  
気候-生物多様性-人間社会ネクサスの対策

## 【背景】

気候変動と生物多様性  
損失は「人類世」の最  
も深刻な危機

この2つの危機は相互に  
深く関わっていると言  
われるが、科学者も政  
策決定者も別々に対応

## 【参加者】

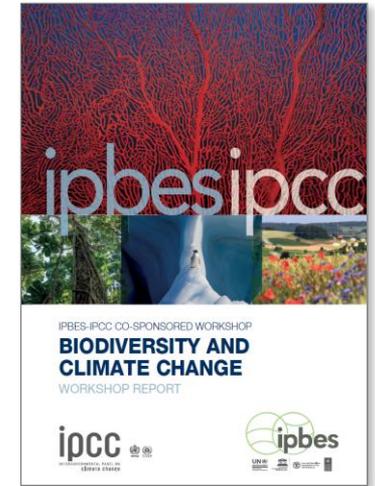
IPBES(25名) + IPCC(25名)  
+  
《科学運営委員会》  
IPBES(6名) + IPCC(6名)  
《技術支援》  
IPBES事務局  
IPCC第II作業部会TSU

※日本からは計3名参加

ワークショップ (IPBES-IPCC合同開催) (成果)  
期間: 2020年12月14~17日

科学的  
査読  
※

※IPBES公式のレ  
ビュープロセスは  
経ておらず、IPBES  
総会の承認は得ら  
れていない。



IPBES-IPCC合同ワー  
クショップ報告書(24頁、  
英語)<sup>[1]</sup>

現在進行中または将来の  
IPBES評価作業のための支  
援資料(2021年6月発表)

内容

生物多様性と  
気候変動の  
あらし

出典

[1]: IPBESウェブサイト <https://ipbes.net/events/launch-ipbes-ipcc-co-sponsored-workshop-report-biodiversity-and-climate-change>



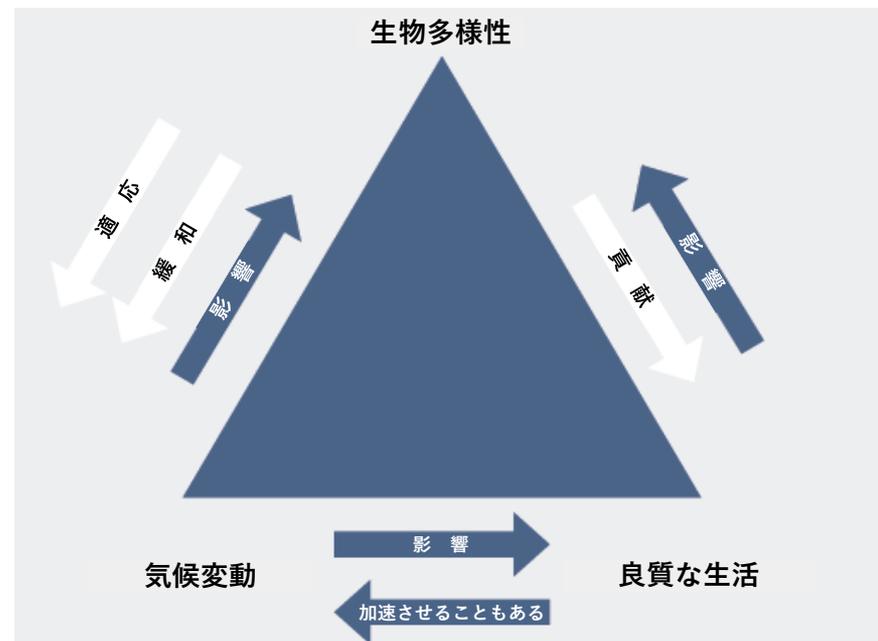
2.

生物多様性と気候変動の  
あらまし

IPBES

# 地球温暖化の制御と生物多様性の保護は相互依存し、持続可能で公平な人間福利に欠かせない

- エネルギー消費と自然資源利用の増大、土地・淡水・海洋利用の変化が、多くの人々の生活水準向上を支えてきた反面、気候変化と生物多様性減少を加速、生活の質を損なっている
- 気候変動と生物多様性損失は相互に依存：一方の問題解決にもう一方の問題との関係を考慮する必要、両方に効果を発揮する政策の**コベネフィット**
- 気候変動を制御できなければ**ほぼすべての社会・生態系は劣化**
- 気候変動の影響で、生物多様性保全に**追加的、重点的な努力**が必要
- 気候、生物多様性の維持とすべての人の生活の質の向上への**同時対応**が、新しい保全のパラダイムに求められる



# 生態系の保護、持続可能な管理と再生が、気候緩和・適応と生物多様性目標に向けたコベネフィットを生む

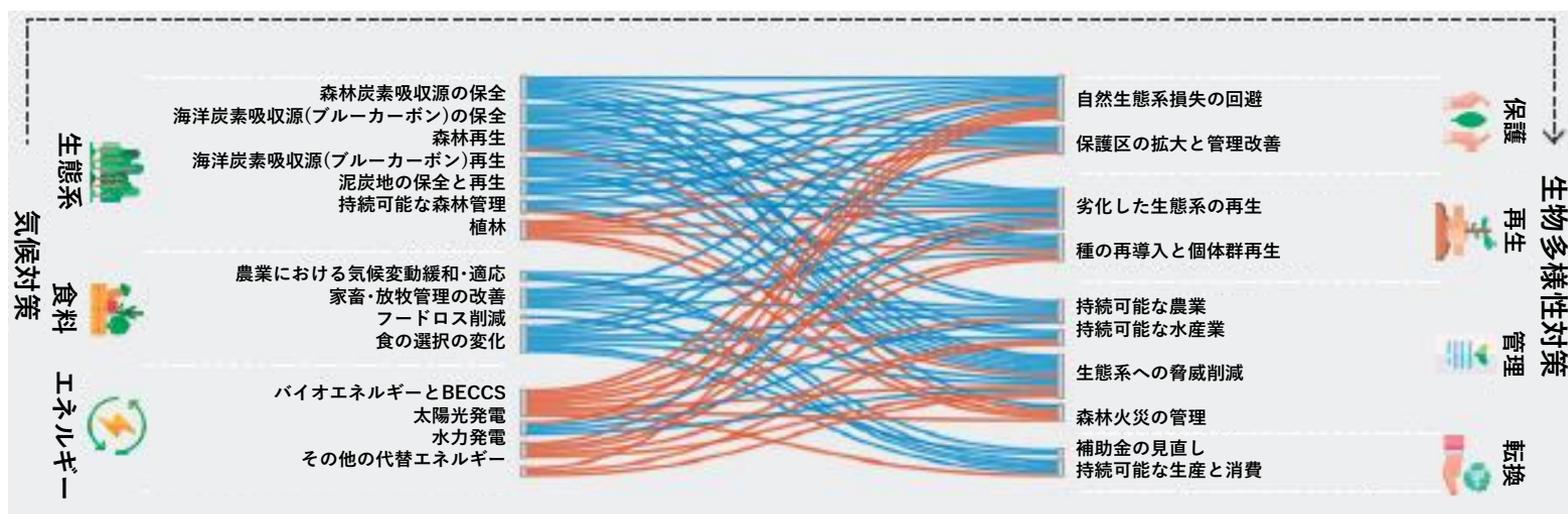
**Nature-based solutions (NbS) 「自然を活用した解決策」**：気候変動の緩和・適応などの社会問題解決のための、自然や二次的自然の保護、持続可能な管理や再生といった対策の総称。そのポイントは：

- **長期的、計画的な実施**
- 気候変動適応と生物多様性の保全および持続可能な利用の**コベネフィット**
- 豊富な炭素貯蔵量と生物種を擁する**陸域・海域生態系の損失・劣化の回避・反転および再生**の効果大
- **持続可能な農林業**
- **都市のグリーンインフラ**構築
- 自然を活用した解決策と技術的な対策の**融合**



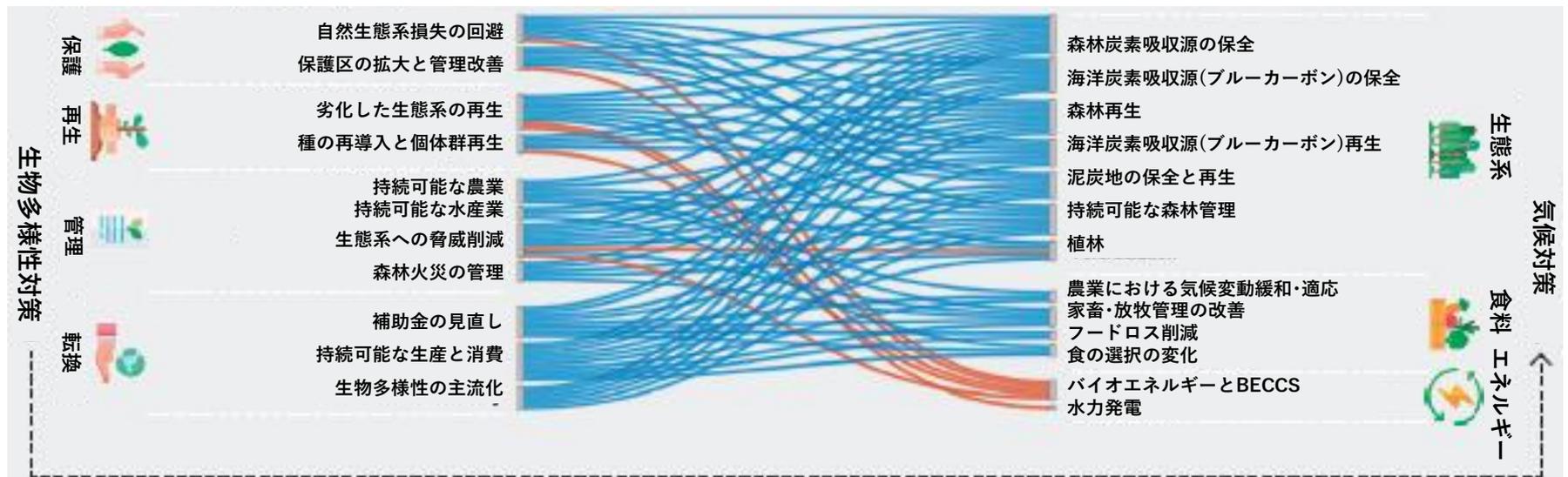
# 気候変動緩和・適応のみに焦点を絞った対策は 生物多様性に悪影響を及ぼす可能性がある

- **生物多様性に悪影響のある緩和策**：樹木やバイオエネルギー作物の大規模単一栽培、本来森林ではなかった生態系への植林、外来樹種の再植林、風力発電(渡り鳥に影響)、水力発電、メガソーラー(森林伐採を伴うもの)、再エネ技術のための資源採掘等
- 気候変動適応のための**技術的対策**には、生物多様性を損なうものもあれば**自然を活用した解決策を補完**できるものもある
- 視野の狭い気候変動適応策による**不適応と想定外の悪影響**のリスク
- 自然を活用した解決策による**カーボンオフセット**は厳格な条件下で効果的



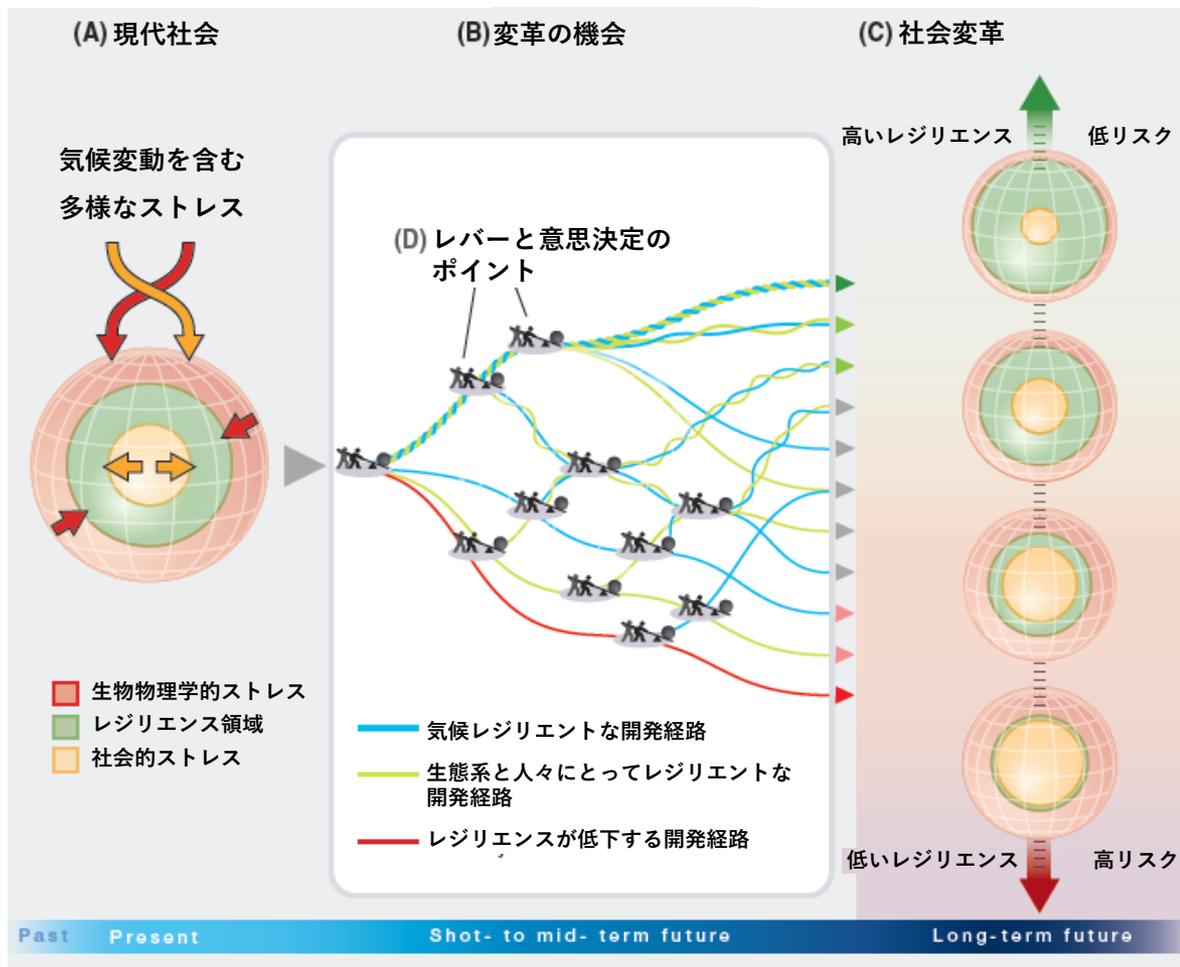
# 生物多様性の保護と再生に気候変動への対応を考慮することで、コベネフィットを高められる

- **保護区** (30-50%の陸域・海域生態系の効果的な保全など)、**保全目的の積極的管理** (森林火災制御や重要種の再導入など) は多くの場合コベネフィットを生むが、対象とする生物圏や部門によって差
- 気候変動対策などのグローバル目標に向けた**地域主導の保全活動**の重要性
- 一人当たり**消費量削減**、**食生活の変化**、**持続可能な自然資源利用**が、生物多様性危機と気候危機への対応に大きく貢献
- **オフセット**の導入による柔軟な対応の可能性



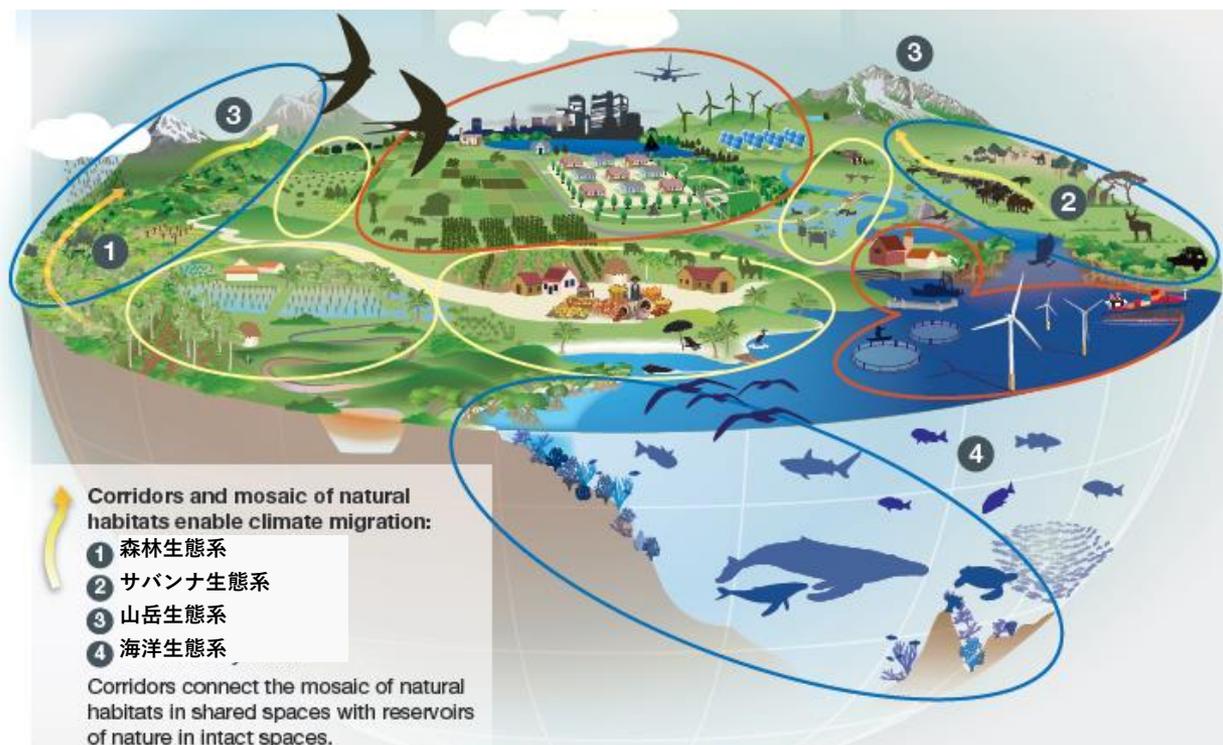
# 気候、生物多様性と人間社会を一体のシステムとして扱うことが、効果的な政策の鍵

- **生物多様性、気候と社会の間の相互作用を考慮した政策**がコベネフィットを最大化、トレードオフや人と自然の双方に有害な影響を最小化
- 生物多様性損失と気候変動のトレードオフや閾値（ティッピングポイント）の回避に、**社会変容に向けた積極介入**が必要
- 政策の効果発現の経時的・広域的な検証が重要



# 社会生態系ガバナンスの変革が、気候と生物多様性のレジリエンスが高い将来の発展経路を導く

- 生物多様性と気候の相互関係に対処し、貧困・脆弱な人々の基本的ニーズを満たす**統合的な解決策はある**が、そのガバナンスと資金調達に壁
- **目標志向、統合的なガバナンス**の必要性と課題
- **重層的ガバナンス**がさまざまな規模の多機能空間の管理に有効
- 社会生態系の「**レバレッジ・ポイント**」への介入が社会変容を惹起
- **部門横断のシナリオ・モデリング**による、目標達成に向けたシミュレーション
- かつてない**迅速で広範な行動**が必要



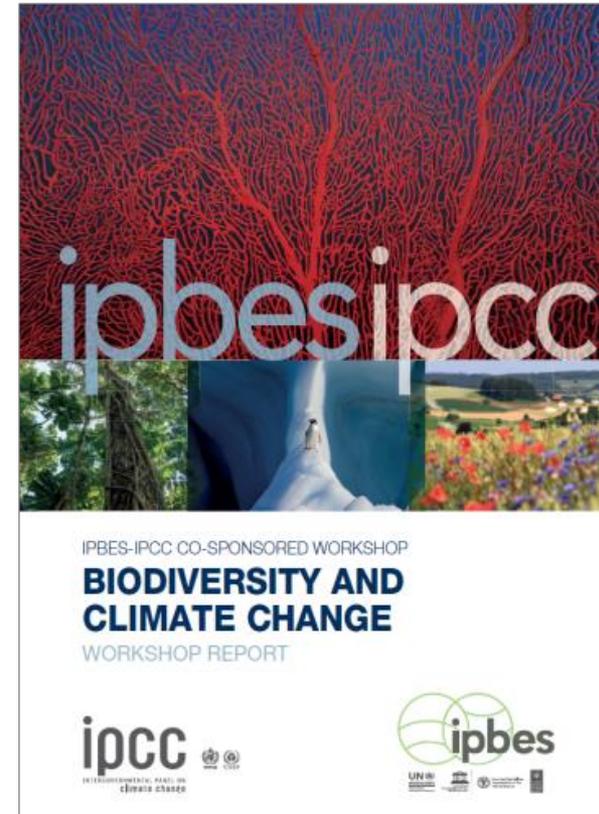
# より深い理解のために

## IPBESウェブサイト

<https://www.ipbes.net/events/launch-ipbes-ipcc-co-sponsored-workshop-report-biodiversity-and-climate-change>

- ・ワークショップ報告書(24頁) [英語]\*
- ・メディアリリース資料 [英語]

いずれも無償で入手できる



\***References:** Pörtner, H.O., Scholes, R.J., Agard, J., Archer, E., Arneeth, A., Bai, X., Barnes, D., Burrows, M., Chan, L., Cheung, W.L., Diamond, S., Donatti, C., Duarte, C., Eisenhauer, N., Foden, W., Gasalla, M. A., Handa, C., Hickler, T., Hoegh-Guldberg, O., Ichii, K., Jacob, U., Insarov, G., Kiessling, W., Leadley, P., Leemans, R., Levin, L., Lim, M., Maharaj, S., Managi, S., Marquet, P. A., McElwee, P., Midgley, G., Oberdorff, T., Obura, D., Osman, E., Pandit, R., Pascual, U., Pires, A. P. F., Popp, A., Reyes-García, V., Sankaran, M., Settele, J., Shin, Y. J., Sintayehu, D. W., Smith, P., Steiner, N., Strassburg, B., Sukumar, R., Trisos, C., Val, A.L., Wu, J., Aldrian, E., Parmesan, C., Pichs-Madruga, R., Roberts, D.C., Rogers, A.D., Díaz, S., Fischer, M., Hashimoto, S., Lavorel, S., Wu, N., Ngo, H.T. 2021. IPBES-IPCC co-sponsored workshop report on biodiversity and climate change; IPBES and IPCC. DOI:10.5281/zenodo.4782538.